

令和3年度の当初予算を紹介します 「未来を守り・拓く予算」

☎ 財政課 ☎086-803-1146 FAX086-803-1735

令和3年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症拡大が財政に大きな影響を及ぼす中、
○新型コロナウイルス感染症対策 に万全を期しつつ、**○街を楽しむ** **○周辺エリアの活性化** **○子育て・教育**
○産業・観光振興 の各分野、さらには、**○地球温暖化対策** **○デジタル化推進** など、
 重点施策に着実に取り組むとともに、今後のコロナ対策予算への備えを両立させるため、シーリングなどの歳出抑制や事業進度の調整、有利な財源の活用、庁舎整備基金の取り崩しなど、一般財源を可能な限り捻出することで、庁舎整備基金を含めた基金の取り崩しを73億円にとどめて編成しています。

令和3年度当初予算の概要

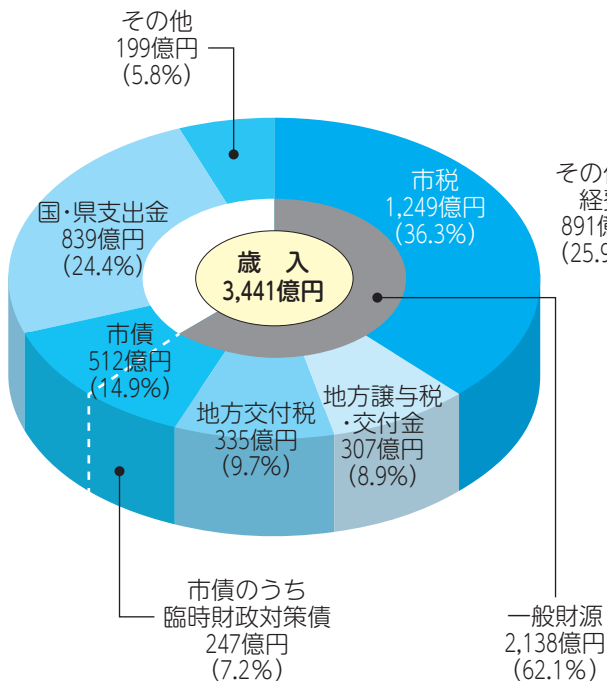
一般会計は前年度と比べて8億円増の3,441億円と過去最高となっています。
 また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせると6,132億円で、前年度と比べて1.6%増加しています。

当初予算 前年度との比較

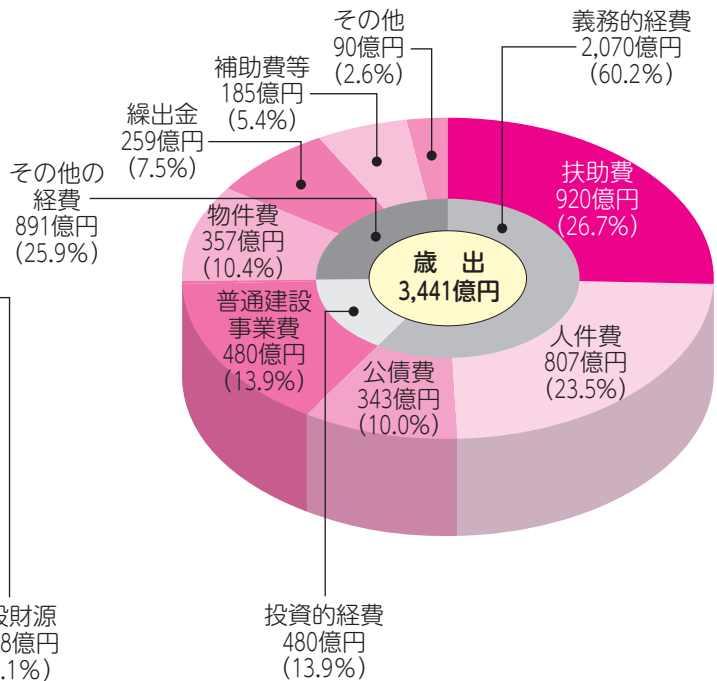
区分	令和3年度	令和2年度	対前年度比
一般会計	3,441億円	3,433億円	0.2%増
特別会計	1,929億円	1,847億円	4.4%増
事業会計	762億円	754億円	1.1%増
合計	6,132億円	6,034億円	1.6%増

一般会計の内訳【()内は構成比】

歳入



歳出 (性質別)



- ◆市税は、個人所得の減少による個人市民税の減少や経常利益の減少による法人市民税の減少、コロナ対応課税標準特例による固定資産税の減少などにより、対前年度比で56億円減少しています。
- ◆地方譲与税・交付金は、感染症対策に伴う地方税減収補填特別交付金の増加などにより、10億円増加しています。
- ◆市債のうち、臨時財政対策債は、地方財政対策に伴う一般財源総額の確保などにより、66億円増加しています。
- ◆国・県支出金は、私立保育園整備助成の減少に伴う国庫支出金の減少などにより、12億円減少しています。

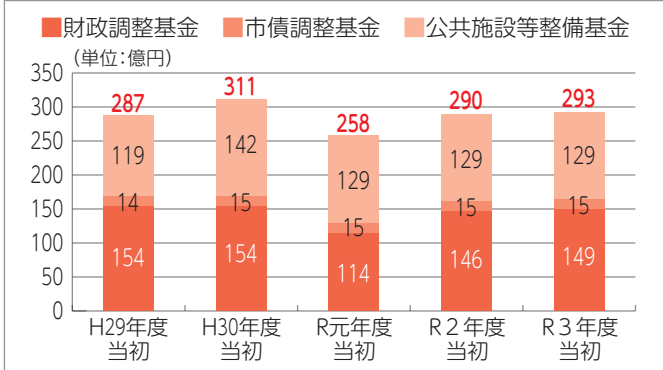
- ◆普通建設事業費は、私立保育園、北長瀬みずほ住座などの施設整備の減少などにより、対前年度比で52億円減少しています。
- ◆扶助費は、子どものための教育・保育給付費、障害児等保護費の増加などにより、36億円増加しています。
- ◆公債費は、臨時財政対策債など地方債償還のための繰出金の増加などにより、12億円増加しています。
- ◆繰出金は、特別会計（後期高齢、介護、国保）への繰出金の増加などにより、10億円増加しています。

財源調整のための基金残高の推移

令和3年度は、市税収入等の減少や感染症対策などによる財源不足に対応するため、財源調整のための基金などから前年とほぼ同水準の73億円※を取り崩しています。

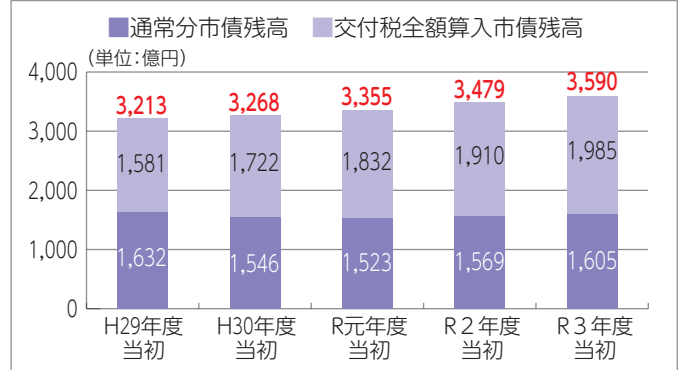
今後の感染状況が見通せない中、あらゆる事態における迅速かつ機動的な支援の備えとして、基金の残高を維持する一方、庁舎整備基金の取り崩しを行うなど、不足する財源の確保に努めています。

※庁舎整備基金の取崩額3億円を含む。



一般会計市債残高の推移

後年度に全額交付税算入される臨時財政対策債などを除いた市債残高は、令和3年度当初予算編成後で1,605億円となっており、前年度に比べ36億円増加する見込みです。これは、岡山芸術創造劇場、岡山北斎場の整備など、喫緊の課題への対応を着実に進めているためですが、発行期限が延長される合併推進債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することで、将来の財政負担を抑制しています。



令和3年度当初予算の特徴 (主要な事業)

未来を守る

「新型コロナウイルス感染症対策」

- ・感染拡大防止など 5億6,983万円
- ・地域経済等への支援 3億158万円
- ・市民生活、活動への支援 6億7,973万円

「産業・観光振興」

- ・スタートアップ支援拠点における創業支援 700万円
- ・IoT、AI等先端技術導入支援 5,600万円
- ・企業立地推進 3億2,700万円
- ・eスポーツ産業振興 300万円
- ・文化財と観光の融合による新たな魅力づくり 2億8,324万円

未来を拓く

「街を楽しむ」

- ・県庁通り再整備 3,700万円
- ・緑(街路樹、公園樹木等)のボリュームアップ 4,100万円
- ・西川魅力賑わい創出 4,330万円
- ・市街地再開発事業の促進 27億1,434万円
- ・岡山城の魅力アップ 9億7,964万円
- ・道路ネットワークの充実、強化 41億3,166万円
- ・岡山芸術創造劇場の整備 76億740万円
- ・路面電車の乗り入れを含めた岡山駅前広場整備 11億4,650万円
- ・公共交通高齢者、障害者運賃割引 3億9,470万円

「地球温暖化対策」

- ・ゼロカーボンの実現に向けた共同研究 940万円
- ・プラスチックごみのリサイクルに向けた検討 100万円
- ・スマートエネルギー導入促進補助 2,360万円

「デジタル化推進」

- ・区役所窓口のスマート化 1,130万円
- ・WEB合同企業説明会 1,100万円

「安全・安心なまちづくり」

- ・地域防災力強化 7,710万円
- ・緊急情報伝達手段の整備 9,770万円
- ・河川等緊急浚渫 9,790万円

「周辺エリアの活性化」

- ・基金による周辺エリアの経済、文化、生活の向上 5億3,575万円
- ・活力ある農業の振興 1億6,287万円
- ・有害鳥獣による農作物被害等への対策 1億円
- ・犬島超高速ブロードバンド整備 1億2,300万円
- ・移住定住促進 1億200万円
- ・新たな生活交通の確保 2,100万円
- ・日本遺産活用推進 1億8,006万円

「Positive Health Okayama」

- ・SIBを活用した健康ポイント 9,132万円
- ・SIBを活用した生涯活躍就労支援 5,643万円
- ・在宅医療介護連携推進 3,660万円
- ・在宅介護総合特区推進 6,620万円
- ・成年後見制度利用支援 1億6,407万円
- ・障害者基幹相談支援センターの設置 8,000万円

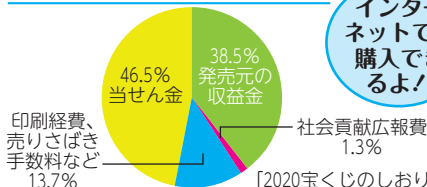
「子育て・教育」

- ・子育て環境の施設整備推進 10億9,900万円
- ・保育士確保対策 4億7,400万円
- ・放課後児童健全育成 26億9,825万円
- ・困難を抱える子どもとその家庭への支援 9億7,580万円
- ・学力向上、魅力ある授業づくり推進 2億5,205万円
- ・GIGAスクール構想によるICT活用支援 1億4,900万円
- ・学校給食費の公会計化 2,550万円
- ・新岡山学校給食センター(仮称)整備 2億9,410万円
- ・山南義務教育学校(仮称)整備 13億8,800万円

宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

岡山県内で発売された宝くじの収益金の一部は、岡山県および岡山市の収入になります。収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や豪雨災害からの復興、子育て支援など、市民の皆さんの暮らしに役立てられています。

ご存知ですか？宝くじ1枚の中金身



インターネットでも購入できるよ!



クーちゃん

〔2020宝くじのしおり〕より